

DACS-2500KB用
ROM書込器
T8 ROMWT
取扱説明書



DACS

目 次

1. 機能	2
2. 接続	3
3. ROM書き込みソフトのインストール	4
4. ROM書き込み操作	4
5. サンプルプロジェクト	5
6. 書込み対象基板とファームウェアhexファイルの対応	6
7. 書込み操作でご配慮いただきたい事項	6
T 8 ROMWT 製品内容	7

機器使用に関する注意と警告

- (1) 接続の間違い、または操作の誤りによって、万一、対象となる相手方装置、または本装置のいずれかが故障しても、本装置は一切の責任を負いません。
- (2) 本装置を接続することにより、対象機器の電気的な回路状態が変化する場合は、直ちに本装置の使用を中止してください。
- (3) 本装置から、対象機器となる装置に異常電圧等がかかり、相手方装置が故障した場合においても、本装置は、相手方装置に関する一切の責任を負いません。
- (4) 本装置を使用した機器の安全に関しては、お客様にて十分な対策を立ててください。本装置を使用した機器の異常動作によるトラブルに関しては、本装置は一切の責任を負いません。

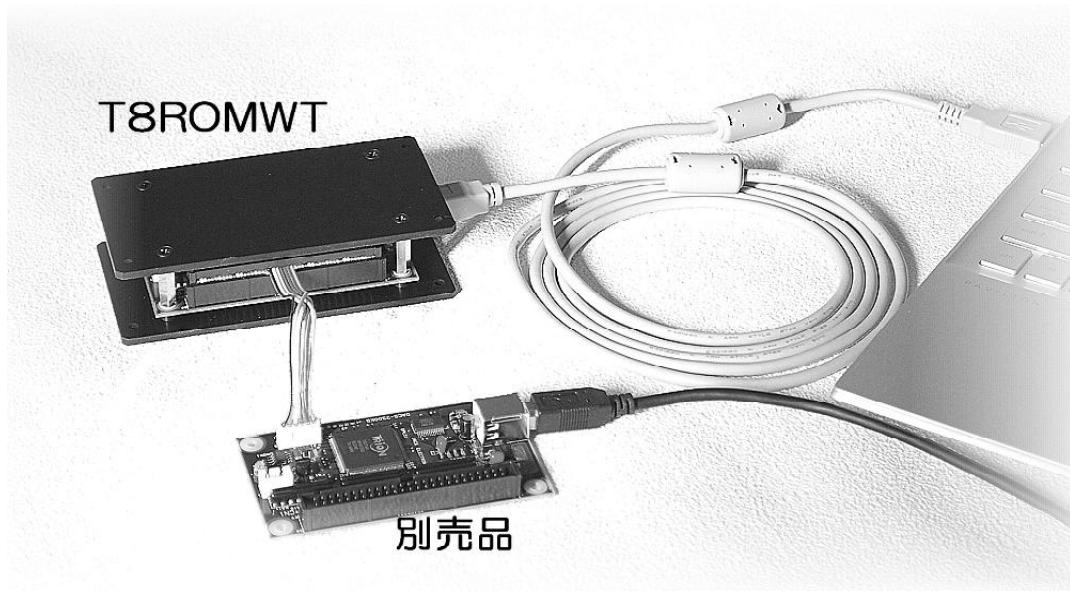
1. 機能

製品型式 T8ROMWT は、DACS-2500KBシリーズ基板に、ファームウェアを書込む ROM書き器です。

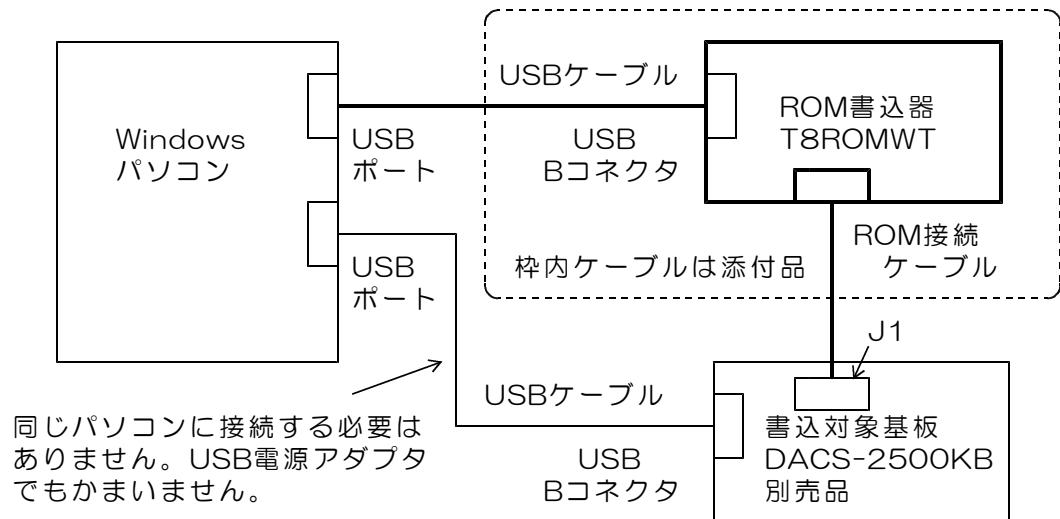
DACS-2500KBシリーズの基板に、ユーザ開発のファームウェアを書込むことができますし、別売のDACS-2500KBのベース基板に、このROM書き器でファームウェアを書込むことにより、デジタル入出力、カウンタ、モーションコントロール、PWMパルス出力などと同じ製品にすることができます。

主な仕様

1	パソコンとの接続	USBインターフェイス 専用USB機器として動作。 USBケーブル（2m）付属
2	ROM書き対象基板	DACS-2500KBシリーズの基板（別売品）
3	書き込みソフト	Windowsで動作 D25KT8ROMwriter.exe サンプルプロジェクトファイルと共に、 ROM書き器ご購入後に、メール添付でお送りします。 デジタル入出力、カウンタ、モーションコントロール、 PWMパルス出力などのファームウェア（hexファイル） は別売です。
4	電源	パソコンからUSBケーブルにて供給
5	動作周囲温度	0～50°C

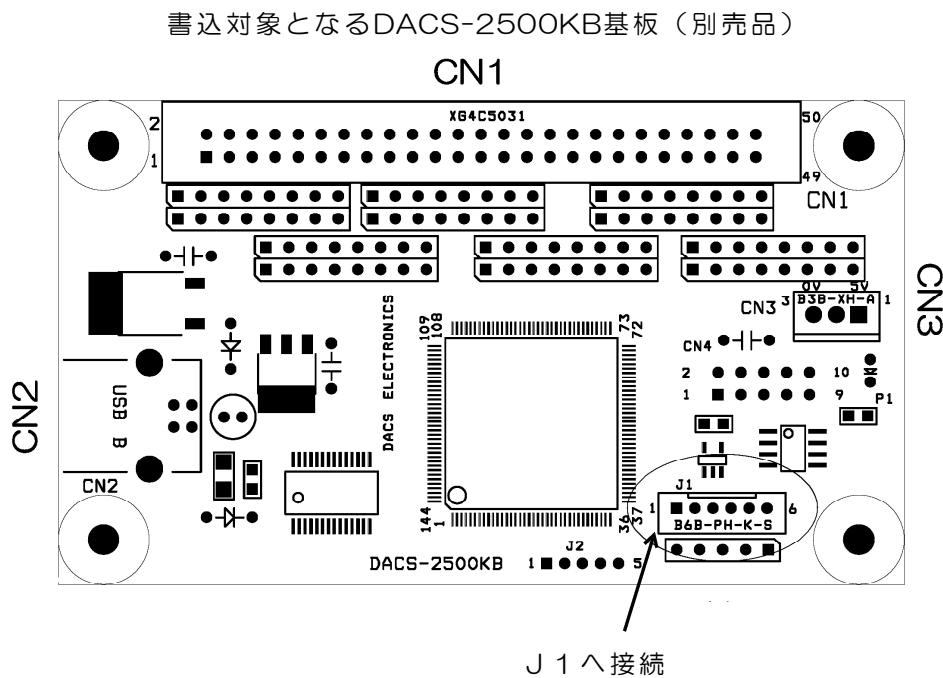


2. 接続



接続手順

- (1) ROM書き込み器のROM接続ケーブル（6ピンケーブル）を、書込み対象となるDACS-2500KB基板のJ1コネクタに接続します。



- (2) ROM書き込み器とパソコンをUSBケーブルで接続します。
- (3) 書込み対象基板 DACS-2500KB とパソコンをUSBケーブルで接続します。

3. ROM書き込みソフトのインストール

- (1) 弊社USBインターフェイス製品のデバイスドライバをインストールしてください。
インストール方法の詳細は、「ドライバインストール手順説明書」を参照してください。
ROM書き込み器のデバイスドライバは、DACS-2500KBシリーズのドライバと共に通ります。
- (2) ROM書き込みソフト 実行ファイル D25KT8ROMwriter.exe を、適当なディレクトリにコピーしてください。

4. ROM書き込み操作

書き込み手順

- (1) ROM書き込みソフト D25KT8ROMwriter.exe を起動します。



- (2) メニューから「ROM書き込み」を選択します。



- (3) ファイル選択画面が開きますので、
書き込みを実行するファームウェアの .hex ファイルを選択し、「開く」を
クリックします。

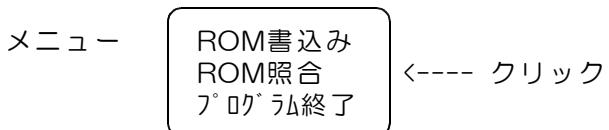
- (4) 画面表示が 消去開始 → 書込み中 → 照合中 と続き
消去開始から 10~15秒で 書込み完了 となります。



これにて書き込み完了です。書き込み後の照合まで実行していますので、
書き込み完了の表示があれば、照合操作の必要はありません。

照合のみの場合

(1) メニューから「ROM照合」を選択します。



(2) ファイル選択画面が開きますので、

照合を実行するファームウェアの .hex ファイルを選択し、「開く」をクリックします。

(3) 画面が 照合中 となり、 3秒程で照合完了となります。



5. サンプルプロジェクト

ROM書込器ご購入後に、サンプルプロジェクトファイル式をメール添付でお送りします。

サンプルプロジェクトの内容

USB接続デジタル入出力基板製品 DACS-2500KB-STD の機能のうち、
基本機能のデジタル出力データ送信と、その応答となるデジタル入力データ受信を実行する、
プロジェクトファイル式となります。efinix社の Efinity で作成しています。

Verilog HDLで記述したソースファイル DACS2500KBSMP.v を含みます。
¥DACS2500KBSMP¥outflow 内の DACS2500KBSMP.hex ファイルが ROM書込用の
hexファイルです。対象となる FPGA T8Q144C4

(注1) Efinity は efinix社のサイトから入手してください。

Efinity のインストール、操作についてはお答えできません。

(注2) DACS2500KBSMP.v の内容に関するお問合せにはお答えできません。

6. 書込対象基板とファームウェアhexファイルの対応

書込対象基板に下表のファームウェア書込後は、ダックス技研製品型式に表示している製品と同じになります。ファームウェアを複数の基板に書込む場合の回数制限はありません。複数の基板に何回でも利用できます。

表示している書込対象基板とファームウェアhexファイルは 別売品 です。

ダックス技研製品型式	書込対象基板	ファームウェア
DACS-2500KB-ST3 -2500KB-OUT -2500KB-TRS	DACS-2500KB-R150 DACS-2500KB-R150 DACS-2500KB-R150	DACS2500KBSTD.hex DACS2500KBOUT.hex DACS2500KBTRS.hex
DACS-2500KB-SCN3 -2500KB-CNT3	DACS-2500KB-R150 DACS-2500KB-R150	DACS2500KBSCNT.hex DACS2500KBCNT.hex
DACS-2500KB-RSW4 -2500KB-RSV3	DACS-2500KB-R150 DACS-2500KB-R150	DACS2500KBRSW.hex DACS2500KBRSV24.hex
DACS-2500KB-PM63	DACS-2500KB-R56	DACS2500KBPMV6.hex

絶縁アダプタ基板と接続する場合、書込対象基板は **DACS-2500KB-R220** となります。また、製品型式によっては、実装部品が一部異なることがありますので、アダプタ基板と組合せてご使用になる場合は、ご購入前に弊社宛お問合せください。
このほかの製品のファームウェアもご提供いたします。お問合せください。

7. 書込操作でご配慮いただきたい事項

DACS-2500KB基板に使用しているROMは、メーカー仕様にて、消去/書込回数 10万回以上、データ保持年数20年となっていますので、通常のご利用状態で書込頻度が問題となることはありませんが、書込対象基板をファームウェアプログラミングの開発に使用して、頻繁に書換えを行うような場合は、機器組込みに使用する基板とは別扱いとしていただくようご配慮ください。

ROM書込器を接続したまま、DACS-2500KB基板を動作させる場合

書込対象基板となるDACS-2500KB基板とROM書込器を、ROM接続ケーブルで接続したまま、DACS-2500KB基板とのデータ送受信などのプログラムを動作させる場合は、ROM書込器をパソコンに接続して、書込器の電源が入っている状態として使用してください。

書込対象基板となるDACS-2500KB基板とROM書込器共にパソコンに接続している状態で、DACS-2500KB基板側を動作させるパソコンプログラムにて、デバイスのシリアル番号を識別する処理を行っていない場合は、先に、書込器のプログラム D25KT8ROMwriter を起動しておいてください。

DACS-2500KB基板側のプログラムで、デバイスのシリアル番号を識別している場合、この問題はありません。

(完)

T 8 R O M W T 製品内容

製品の名称	DACS-2500KB用ROM書き器 T 8 R O M W T	
標準構成	T 8 R O M W T ユニット USBケーブル 2m	1台 1本
書込ソフトおよびサンプルプロジェクトファイル一式は ご購入後にメール添付にてお送りします。		

製造販売

ダックス技研株式会社
ホームページ

<https://www.dacs-giken.co.jp>

DACST8ROMWT26115A